

# やすらぎだより

9  
月  
号

陽気で緑にあふれた生活 それやすらぎ園です

コラム第135号

## 「フロンティア事業」

施設長 植田 誠



「低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業」通称「モデル事業」が2年経過した。このコラムで記すのは3回目だ。曲折を経てようやく形ができ、少しずつ地域に浸透させながら「当事者の声」と向き合う仕組みが構築できた。

住宅と福祉、これまで薄かった関係を融合させながら「高齢者の住宅問題」というまさに潮流の課題に乗ったこの事業に、今、注目が当たっているとさえ言えよう。担当者3名は、地域そして転居を求める高齢者との応対に戸惑いながらも、日を追って士気は高まっているようだ。勿論、包括や見守り、在宅事業等が後方支援としての役割を果たし、行政と地域、不動産業者等の協力を得て「フロンティア事業」は確実に動き出した。

そんな中、メディアからの問い合わせが集中している。8月12日付読売新聞を皮切りに、26日付奈良新聞に記事が掲載された。予想を上回る反響に対し、しっかりとした事業成果が築かれない中、NHKからの取材とテレビ朝日からの問い合わせがあった。

「緊張していましたので、返答には不安があります」出演したY担当者の表情から、責任の重さと今後への意気込みが感じ取れた。放映は9月5日朝7時45分からのNHK「おはよう関西」、良ければ一見を。

事業の宣伝を目的に公民館等の地域拠点をくまなく回っている担当者から聞くと、高齢者の転居には多数の課題が存在することがわかる。マッチング自体の難しさや家主の貸し渋り、転居後の生活設計など。当事者の思いだけでは成り立たないからこそ、事業としての存在意義はあると言える。

社会福祉法人の地域貢献が叫ばれている中、それぞれの社会福祉法人が地域の安心・安全をそれぞれの取り組み方で支えてきた。これまでも、そしてこれからもその手法には際限はない。

フロンティア事業はやがてはジェネラルな事業となるであろう。



### 社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| ○特別養護老人ホーム やすらぎ園 | ○ケアハウス やすらぎ    |
| ○在宅サービス事業所       | ○介護予防関連事業      |
| 居宅介護支援事業所        | ○グループホーム むつみあい |
| 訪問介護事業           | ○天理市ひとり暮らし     |
| 訪問入浴介護事業         | 高齢者世帯等見守り事業    |
| ○短期入所生活介護事業      | ○低所得高齢者等住まい・   |
| ○在宅介護支援センター      | 生活支援モデル事業      |
| ○天理市東部地域包括支援センター |                |